

令和2年度医療・介護連携専門部会の取組

1 目標

病院完結型から地域完結型へという流れの中で、すべての病院が、2025年に向けた対応方針について、毎年度第1回部会において提示すると共に圏域内の具体的な調整協議ができるよう取組を進める。
また、取組の過程で整理された課題を共有化し、具体的な取組について検討を深める。

2 内容

- 各病院は、2025年に向けた対応方針の検討を行い、今年度第1回部会に提示すると共に、次年度に向けて検討を深める。
- 保健所は、上記取組に向けて情報提供や圏域内の実態把握を行うと共に、部会で検討を進める。
- その他の関係機関は、部会で出された課題について連携して取組を進める。

3 これまでの取組の総括

- 高度急性期・急性期
高度急性期医療機関間の機能調整について協議を進めていく。
高度急性期・急性期・地域包括ケア病棟の連携について協議を進めていく。
- 回復期
転換による増床を目指す。
地域包括ケア病棟のサブアキュート機能の強化に向けて検討する。
- 慢性期
医療区分1の人の受け皿の実態を把握し、今後の病床のあり方について検討する。
介護医療院について知識の共有化を図る。
- 在宅医療
病院を中心とした在宅医療の体制整備を進める。
かかりつけ医による在宅医療の後方支援体制を強化する。
出雲市在宅医療・介護連携推進事業との連携を深める。
- 救急と地域との連携を新たな取組として深めていく。

4 スケジュール

月	事業	保健所の役割	各機関の役割
～11月		<ul style="list-style-type: none"> ・2025年に向けた対応方針検討依頼 ・病床の動向確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年に向けた対応方針検討(病院) ・病床機能報告(病院、診療所) (病院分：保健所にも情報提供)
12月	22日 第1回医療・介護連携部会 <ul style="list-style-type: none"> ・各病院の対応方針を踏まえて圏域の対応方針を検討 ・医療と介護の連携について検討 		
R3年 1・2月		<ul style="list-style-type: none"> ・圏域編保健医療計画中間見直し 素案作成 	
3月	上旬「第2回医療・介護連携部会」 <ul style="list-style-type: none"> ・圏域編保健医療計画中間見直し素案検討 ・今年度の取組を評価 ・次年度の取組を検討 中旬「出雲地域保健医療対策会議」 <ul style="list-style-type: none"> ・圏域編保健医療計画中間見直し素案検討 → 検討結果を踏まえて素案確定 		
R3年度 予定	6月：県医療審議会・・・県保健医療計画素案提示 9月：県医療審議会・・・県保健医療計画承認 10月：県（圏域編）保健医療計画見直し後計画スタート		